



校正証明書

校正者 フタバリカセイキ株式会社
 住 所 茨城県つくば市南2-12
 品 名 気体ガス圧力計
 型 式 20301-071-C2-PI-MDIA
 製造番号 011070214(管理番号-C2-21)
 製造メーカー 横河電機株式会社

校正項目 気体ガス圧力
 校正方法 JQA校正要項による(証明書番号E314610)
 校正結果 実真値の±0.1%
 校正年月日 2020年3月12日
 校正実施場所 愛知県北名古屋市富岡山5-5-12の1
 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター
 経典試験所 計量計測部校正班

校正結果は以上のおりであることを証明します。

2020年3月16日

愛知県北名古屋市富岡山5-5-12の1
 一般財団法人 日本品質保証機構
 中部試験センター

所長 田中 隆



この証明書は、国内または海外の国家標準にトレーサブルな標準器による校正した結果を示すものです。誤差による承認なしに、この証明書のマークをコピー及び一部分のみを複製して使用することをお断じます。日本品質保証機構 中部試験センターは、A2LA (American Association for Laboratory Accreditation) によってILAC/ILAC 17025-2005に基づき校正機関として認定されています。

校正結果

校正圧力値 (kPa)	表示値 (kPa)		状態不確かさ (kPa)	包含係数 k
	真正	降圧		
0.10000	0.1000	0.1000	0.00055	2
0.20000	0.2000	0.2000	0.00055	2
0.30000	0.2999	0.2999	0.00055	2
0.40000	0.3999	0.3999	0.00055	2
0.50000	0.4999	0.4999	0.00055	2
0.70000	0.7000	0.7000	0.00055	2

状態不確かさは、上記の包含係数から決定したもので、約95%の信頼の水素をもちと推定される範囲を定める。

1. 校正条件

- ・ 校正は標準器との比較測定により実施した。
- ・ 圧力値は大気圧に対するゲージ圧力であり、窒素ガスを圧力媒体とした。
- ・ 校正開始前に予備測定を2回行った。
- ・ 測定は昇圧・降圧の両方を1回行った。
- ・ 各測定点では、サンプルサイズ10回ずつ測定データを取得し、その平均値を計算に用いた。昇圧時、降圧時それぞれについて、上記1回の平均から、表示値を算出した。
- ・ 大気開放時にゼロ点調整を行ってゼロ点を調整を行った。
- ・ 測定後のゼロ点の平均値は、0.0000 kPaであった。
- ・ 圧力保持時間は30秒とした。
- ・ 電源はAC 100Vで、2時間以上の過電流矯正を行った。
- ・ 表示値は、圧力導入口の高さを基準レベルとした値である。
- ・ 校正を実施したときの校正室の環境条件
 温度：23.0℃～23.4℃
 相対湿度：54%～55%
 大気圧：1019 hPa～1020 hPa

2. 使用した標準器等

機用圧力コントローラ	(型式) 7250LP	(製造番号) 64731
------------	----------------	-----------------

特記事項：校正品の受取後、ゼロ調整を抜き結露及び調整を行わずに校正を実施した。

以上